

大切な
甲賀市の自然
パートII

甲賀市内の
大切な自然が存在する
地域について紹介します

●第5回●
信楽 田代川流域



▲コウヤミズキ (谷悦男氏撮影)



▲キンコウカ

田代川は太神山地の流れを集め、大津市上田上大鳥居で大戸川に合流します。中流域に東海自然歩道が接し、景勝、三筋の滝があります。

信楽町から大津市上田上にかけて、花崗岩地帯がひろがっていて、田代川流域も崩れやすく、岩地の多い、地味の乏しい山地です。早春、木々の葉が芽吹く前、マンサク、コウヤミズキ、タムシバの花が咲き出します。コウヤミズキは花崗岩地帯にみられる植物で、黄色の小さな花が房のように集まって、垂れ下がって咲きます。滋賀県ではこの地域近辺にしか生育しない、分布上重要種です。初夏には鈴鹿山地に咲くベニドウダンもみられます。近年まではヤマグルマの花も咲きました。

夏、水のしたたり落ちる岩壁に咲くキンコウカも花崗岩地に生える植物で、滋賀県が日本での分布の西南限地になっています。湿地やその周りにカキランが咲きます。

田代川に沿った道端には、いまなおコオニユリ、クモキリソウなど、野山でみることの少なくなってしまった花々が咲くなど豊かな自然が残っています。

山地や河川は林道の開発などの改変を受けやすく、そこで生きてきた生き物の生きる場所を狭めてきました。田代川流域には、まだまだほかでは失われてしまった生き物が息づいています。今後どのように保全していくかが、大きな課題と思われれます。

3月の
休園日

3日(月)、10日(月)、17日(月)
21日(金)、24日(月)、31日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会 文芸欄

今回は甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

甲賀町俳句同好会 北川溪舟選

- ・重詔や田舎料理に老い笑顔 増井 竹史
- ・初雀狭庭にこぼれて二羽三羽 立岡 久女
- ・元朝や挨拶受けも丁重に 松島 芳子
- ・重詔に白エプロンの祖母光る 立岡きさえ
- ・平成の世も二十年お元日 森地千恵子
- ・初雀すがしき朝の庭に降り 藤橋 淑子

鹿深句会 桑田美智子選

- ・野の風も流るる水も冬ざるる 東 美千代
- ・白子漁旬の肴に旬を酌む 桑田美智子
- ・柚子風呂に荒れたる手足癒しけり 藤縄よしみ
- ・ふる里の味を包みて歳暮かな 堀 小夜子
- ・聖樹の灯団地の闇にきらめきぬ 松島 初江
- ・峠道草木沈みて冬ざるる 前田よしゑ

甲賀川柳 井上謹三選

- ・盛り塩を作り入口清めおく 北川 溪舟
- ・大学出職の入り口狭き門 瀬古 一郎
- ・幼き日水田でスケート出来た日も 藤橋阿さ江
- ・夏の浜素足の後を波が消す 立岡 由子
- ・盆踊り素足に下駄がよく似合う 奥山 康雄
- ・ささやかな年金だけど拝みます 山下きよの

次号(4月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。